

事業概要 【公金収納のデジタル化推進事業】

自治体名	広島県尾道市	人口	126,525人	事業費	4,365千円
------	--------	----	----------	-----	---------

事業概要

体育施設の利用料や手数料の支払いは、住民が直接金融機関窓口に出向くことが基本となっているが、**コンビニ払いやスマホアプリによる支払いを追加**し、納付環境の向上を図るものである。また、指定金融機関市役所派出所廃止に伴い、来庁時に納付書の再発行を受け、即時納付ができなくなることから、第三セクターが運営する**本庁舎売店をMMK設置店に移行**し、住民サービスの維持・向上を図り、さらに、市県民税特別徴収などコンビニ払いができない納付については、複数の部署へのたらいまわしを防止するため、納付窓口の一元化を図るとともに、**セミセルフレジ及びポスレジシステムを導入**し、間違わない、待たせない窓口サービスを提供するものである。

①多様な収納手段の拡充

- すでに導入しているコンビニ収納に、体育施設利用料等の使用料、介護保険事業所指定事務等の手数料のほか、賃借料、寄附金及び雑入の5種類の歳入科目を追加。
- コンビニ収納拡充に合わせて、既に導入している税金・料金についてもスマホアプリ収納で取り扱う決済ブランドを拡充。

○システム構築（委託料）2,000千円

②納付窓口の明確化

- 指定金融機関派出所廃止後の納付受付について、第三セクターの運営する本庁舎売店をMMK設置店に移行。
- コンビニ収納の拡大によってもなお残る市職員による窓口収納について、受付窓口の集約化を図るとともに、セミセルフレジ及びポスレジシステムを本庁舎2階会計窓口にて1台導入し、待たせない、間違わない窓口を構築する。

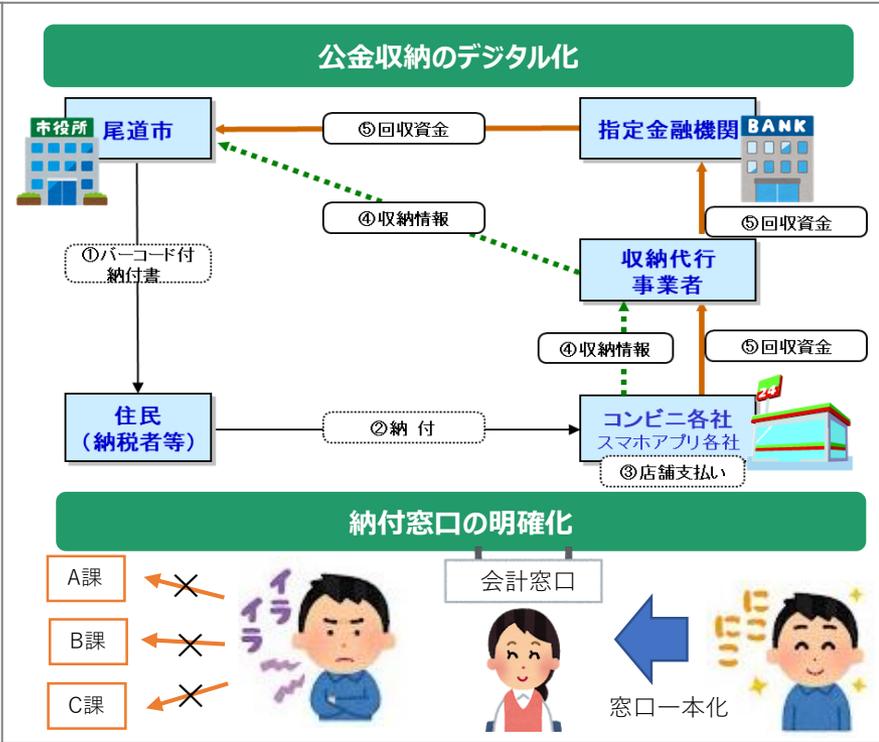
○本庁舎売店をMMK設置店へ移行（備品購入費）1,144千円
○会計窓口へのセミセルフレジ及びポスレジシステム導入（委託料）1,221千円

※経費内訳はR7年度事業費

主なKPI

【アウトプット指標（活動指標）】

- ①MMK設置店における利用件数
- ②スマホアプリ収納の件数
- ③コンビニ収納を拡充した予算科目に係る利用割合



【アウトカム指標（成果指標）】

- ①督促状の発送件数
- ②公金納付で便利と感じる人の割合